

東日本大震災岩手県共同対策本部ニュース

事務局
いわて労連
No.16
2011.5.18

◆共同センター会議と2ヶ月行動

共同センターでは5月9日に第9回会議を持ち、各団体の活動報告と情報の交換を行いました。岩商連と農民連が独自に県要請を行ったこと、新婦人では沿岸市町村に支援カンパを届けたこと、消団連・いわて生協・母親連絡会で陸前高田に定期的に炊き出しを行っていることなどの報告がありました。

2ヶ月を経過した共同対策本部をこれからどうしていくかという話があり、情報の共有をする場がほしいという意見もあり、あらたな体制を考えながら当面続けていくことになりました。紫波の支援物資倉庫は5月20日までに終了し、農協にお返しすることを確認しました。



被災2ヶ月募金行動

また、会議の中で、被災2ヶ月目にあたる5月11日に何か行動を起こそうということになり、盛岡市肴町アーケード前でお昼時間に募金署名活動を行いました。8団体から12人が参加し、30分の行動で19890円が集まり赤十字に送金されました。また民商の国会請願署名も取り組み、17筆が集まりました。

◆大船渡センター引き続き奮闘

大船渡の全労連・災対連のボランティアセンタ

ーは引き続き奮闘しています。現在までのべ776名が活動し、復興の力となっています。1日の人数が最大40名以上になった時もあり、夏虫温泉にマイクロバスで移動し分宿していました。



宿泊に使った夏虫のお湯っこ

ボランティアではそれぞれの特技も発揮して行われ、埼玉土建のボランティアは家の解体などで活躍していました。

また、ボランティアの方が持参してくれた、コメント入りのマグネットやステッカー(東



床板はがして泥出し



大船渡市役所に清掃グッズ贈呈